

平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 94

千葉県立松尾高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校へ志願する理由が明確で、人物が優れており、次のア又はイのいずれかに該当する生徒。

ア 学習成績が優れており、本校入学後も学習活動に積極的に取り組んでいく意欲のある生徒。

イ スポーツ活動、文化活動又はボランティア活動に優れた実績を持ち、本校入学後も積極的に活動をしていく意欲のある生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者3名・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ10分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科があった場合、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年皆勤は、総合的に判定する際の参考とする。 3年間で欠席が20日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	生徒会本部役員、ボランティア活動等で顕著な活動実績を持つ者は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 部活動の記録 特記事項	県大会出場以上の実績を持つ者は、総合的に判定する際の参考とする。 英検・珠算検定等は3級以上、柔剣道等は初段以上の者は、総合的に判定する際の参考とする。
カ 総合所見	特に優れた内容等については、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [90点満点]

3名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを6点、bを3点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	本校を志望した動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 意欲的な高校生活（学習・部活動等）を送ろうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問の内容を十分理解し、自分の考えをわかりやすく表現できている。 中学校時代に頑張ったことなどについて、明確に答えることができる。
エ 身だしなみ・服装	頭髪、服装がきちんとしている。
オ 礼儀・言葉遣い	礼節をわきまえ、適切な言葉遣いができている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」，「調査書の得点」，「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査の成績	調査書の得点	第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	90点	$(725 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値 95

m ：当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあつては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。